

科目名	メディアコンテンツ特論		英文表記		年月日	
教員名	西村 篤				22/10/01 作成 修正	
対象学科	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
情報工学コース	1	選択	学修	2	講義	半期
目 標	メディアコンテンツの表現内容と技法は、それを取り巻く政治的・社会的状況、また受け入れる側のライフスタイルや価値観によって大きく影響を受ける。本講義においては、メディアコンテンツと社会との関わりについて、事例を通じて学ぶことにより、制作者としての応用的な素養、特に分析力・企画力を育てることを目標とする。					
高 専 目 標	(1)	(2)	(3)	(4)	JABEE プログラム名称	メディア情報工学プログラム
					JABEE プログラム教育目標	A-3
授業概要、方針、履修上の注意	毎回特定のトピックを設定し、教員もしくは担当学生によるプレゼンテーションをもとに、出席者全員が討論を行う形式を採る。					
評価方法	各單元ごとに課すレポートの内容 (40%)、発表時に作成するレジュメの内容 (20%)、発表と質疑応答の評価 (20%) および期間中の学習について記録したジャーナル (期末レポートとして提出) の内容 (20%)、により評価する。					
教科書・教材	事前に購入しなければならない教科書はない。教材としてプリントを適宜配布する。					
参考図書	授業の中で必要に応じて紹介する。事前に購入すべき参考書はない。					
関連科目 (学年)	メディアコンテンツ基礎 (本科 1 年) メディア情報工学実験 1 (本科 2 年) メディアコンテンツ応用 (本科 5 年・選択) ※ただし履修していなくても支障はない。					
授 業 計 画						
授 業 項 目	時間	授 業 内 容				
1. ガイダンス	2	授業概要・評価方法について説明する。				
2.メディアコンテンツと社会	2	関連する学説および事例の紹介				
3.メディアコンテンツと社会	2	関連する学説および事例の紹介				
4.事例研究 (1-1)	2	ドキュメンタリー作品の研究				
5.事例研究 (1-2)	2	ドキュメンタリー作品の研究				
6.メディアコンテンツと社会	2	関連する学説および事例の紹介				
7.メディアコンテンツと社会	2	関連する学説および事例の紹介				
8. ワークショップ概論	2	ワークショップの進め方について説明する				
9. ワークショップ (1-1)	2	学生による発表と討論				
10.ワークショップ (1-2)	2	学生による発表と討論				
11.ワークショップ (2-1)	2	学生による発表と討論				
12.ワークショップ (2-2)	2	学生による発表と討論				
13.ワークショップ (3-1)	2	学生による発表と討論				
14.ワークショップ (3-2)	2	学生による発表と討論				
15.総括	2	全体のまとめを行う。				
学習時間合計	30	実時間		25		

学修単位における自学自習時間の保証 (レポート頻度など)

各單元ごとにレポート課題を課す。また期間中の学習についてまとめたジャーナルをまとめ、期末レポートとして提出することを課す。

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)
 通年は2ページ、半期は1ページ以内におさめる。